

# 経営改革会議の意見書への対応を問う

石川 眞男 議員



**Q** 経営改革町民会議の意見書でいう、協働推進センター機能を充実させるための措置を考えているか。

**A** 町長 「地方分権にふさわしい、小さくても安全・安心で魅力あふれる町」を目指すには、協働推進センターの充実が不可欠だ。勤労者センターや「ふるハートホール」

を目標とする。地産地消を進める意味でも、町民が買いに行きやすい座りのいい場所、具体的には、東毛広域幹線道路と藤岡・大胡線が交差する周辺あたりに設置すべきと

**Q** 物産館の消費者は「義的」には町民と考える。地産地消を進める意味でも、町民が買いに行きやすい座りのいい場所、具体的には、東毛広域幹線道路と藤岡・大胡線が交差する周辺あたりに設置すべきと

**Q** 「物流総合効率化法」に指定された玉村町内の2区域について、どのように対応するか。

**A** 町長 高速道路へのアクセス性もよく、物流の効率化を図る上で優位な位置にある。町のホームページ等を活用し、広く事業者へお知らせしたい。



玉村町役場東にある、ふるハートホール

# 新年度の予算編成方針と町民の森の活用方法は

齊藤 嘉和 議員



**Q** 予算編成に当たっての基本方針は何か。

**A** 町長 平成22年度の歳入については、町税などの減収が予想されるため、前年度に引き続き、無駄ゼロに向けた事務事業全般にわたっての見直しを行う。

重点施策として「健康とスポーツのまちづくり」、「子どもやお年寄りに温かい福祉のまちづくり」、「経済対策による活力あるまちづくり」、「あんしん安全なまちづくり」、「町民一人一人が主役の協働のまちづくり」の5項目を念頭に、住みよいまちづくりに向けた予算編成を行う。

住民サービスを落とさず、健全財政が保てるような予算要求を行うよう指示

**Q** 平成21年5月に山ノ内町から提供された、町民の森の活用方法は。

**A** 町長 「町民の森」は、山ノ内町が所有している山林の一部を、玉村町に無償で貸していたものである。

山では山菜が採れるなどの話を聞いている。山は自然林であり、四季を通じてさまざまに変化する。特に夏場は笹竹等の下草が茂るので、管理や使用方法等に

ついて今後検討したい。

**Q** りんご狩りの時期などに、町民ハイキングを計画したらどうか。

**A** 生涯学習課長 検討してみたい。



山ノ内町から提供された、玉村町民の森

# 政治とカネの問題を問う

笠原 則孝 議員



**Q** 町長就任以降の政治活動における、政治活動等収支報告の状況は。

**A** 町長 後援会活動は、年1回程度の会報の発行のみである。町長の任務は、毎日が町民との接触であり、日々町民との対話を大切にしている。

**Q** 議員や特別職が、今までどおりに安穩と前例踏襲型で、税金によって高

**Q** い報酬をいただける時代ではないと考えているが、町長を含めた特別職の報酬削減について問う。

**A** 町長 町長・副町長・教育長の報酬については、平成15年7月に10%の削減を実施し現在に至っている。群馬県内町村長の報酬額平均は、全国47都道府県中44位で、非常に低いところに位置している。

**Q** なぜ、玉村町のごみ袋は他市町村より高いのか。

**A** 町長 玉村町の価格が高いことは認識している。佐波・伊勢崎広域組合が存在していたときは、共同でごみ袋を作成していたため、基本的に同一価格だった。広域組合が解散した後は、個別に作成しているため価格差が発生している。

**Q** 国の緊急経済対策を受け、町として行う雇用及び経済対策を問う。

**A** 町長 平成21年度群馬県緊急雇用創出基

金事業市町村補助金を活用した事業として、臨時職員雇用、児童館・保育所の交通整理・防犯警備、文化財資料の保存活用等を実施し、25名の新規雇用を創出した。



玉村町と伊勢崎市のごみ袋

# 給食費の収納率は改善されたか

村田 安男 議員



**Q** 平成20年2月の新聞では、給食費の収納率が県下で最下位だったが、現状は。

**A** 町長 平成21年4月～9月の状況は、未納者154人、未納金額は196万円となっている。夏休みに該当宅を訪問し、納付の依頼を行った結果、前年より改善された。

**Q** 平成21年3月以前(過年度)の未納実態は。

**A** 町長 過年度未納者数は261人、未納金額は1483万円となっている。

**Q** 経済的な理由による人もいると思う。慎重に対応する必要があるが、公正・公平性を考慮し努力願いたい。

**A** 町長 経済的な理由による未納者については、就学援助制度の活用

を促したい。

**Q** 過年度分は、2カ年を経過した場合、時効になってしまう。法に照らし、時効にならないよう対処する必要がある。

**A** 町長 給食の意義や、果たす役割を理解していただくように努力したい。

**Q** 無人ヘリコプターによる農薬散布に対する苦情が後を絶たないと聞く。食品衛生法の改正等を受け、県内で実施している

のは3市町となつてしまつたが。

**A** 町長 散布面積、使用農薬、散布回数の見直しを行つてきた。しかし、空中散布による健康不安を抱く人もおり、食に対する安全性を考慮し、検討したい。



玉村町学校給食センター